



およその大きさ 80×45×25cm



形の特ちょう (ニックネーム)

いなりずし型

色の特ちょう

- ・全体が緑色味のある岩体

表面の特ちょう

- ・黒色のれき状岩片(小さい)と褐色のれき状岩片(大きい)があり、破碎して同じ方向に倒れたような形に配列している
- ・岩片以外は白い物質が充填している

側面の特ちょう

- ・れきの配列から、層状になっているように見える

含まれているもの

- ・黒い岩片(カッターナイフで傷つく)
- ・岩片以外の灰色の部分は塩酸をかけると発泡する

その他の特ちょう

- ・黒い岩片は柔らかいが爪では傷がつかない。外観が2(蛇紋岩)に類似
- ・灰色の部分は石灰岩(一部は爪でも傷がつく。一部が滑石化している)
- ・蛇紋岩と石灰岩の組み合わせなら岩石の種類は蛇灰岩となるだろう

メモ

【観察メモ】

*この岩体はマントル物質から変化した蛇紋岩とサンゴ礁起源の石灰岩が共存する。ということは、両者が地下深部にもちこまれ、地殻変動により断片化して混じりあったか、あるいは石灰質の液体中で蛇紋岩が断片化したか

岩石名

破碎された蛇紋岩 (蛇灰岩)